



## 中国・四国地区特別支援学校知的障害教育校 PTA 連合会 研究協議会（高知大会）報告

中国・四国地区にある知的障害教育校（香川県には5校、中国・四国地区合わせて65校あります。）から約200名が参加して、10月4日（金）、5日（土）に高知県高岡郡にある日高特別支援学校などを会場に研究協議会が開催されました。本校からは北原会長、荒副会長、西岡教頭、木村教諭の4名が参加しました。



寄宿舎もある日高特別支援学校では、コンクリート班やリサイクル班などの本格的な設備での学習の様子も見学することができました。



### 講演1 「地域とともに生きる」

NPO 法人日高わのわ会 事務局長 安岡千春氏

驚きました！ 「日高わのわ会」は平成17年にNPO法人として創立され、これまでに「地域創生」などの成功例として、視察が2000件超え、300回以上メディア登場、さらには安部首相の施政方針演説でも紹介され、全国から注目されていました。人口約5000人の村での事業にただただ驚きました。

子育て中のお母ちゃんたちの「子どもの世話をみんなでしながら、地域の困りごとを解決できるといいな」との想いからスタートしたそうです。そこから子どもの預かり（障がい児含む）、買い物、配食、障がい者支援、カフェなど23事業・サービスまで拡大されているのです。特産トマトを使っの村おこし「オムライス街道」の仕掛人のお一人だとか。



「日高わのわ会」ホームページより

障がい者支援の事例として、作業所に通っていた女性のケースを紹介してくださいました。何事にもあまり意欲を示さない女性から「子どもが好きで保育士になりたかった」と聞き出すと、なんとか保育士補助での仕事ができないかと、ハローワークや保育所とも連携し、インターン後に就業へとつながったと。一人一人を大切にしていた支援を行っている現状を知ることができました。小さな村でもこんなことができるのだと。この紙面では紹介しきれません。ぜひ会のホームページをのぞいてみてください。NHK「ずっとしこく」ホームページにも安岡さんのインタビュー#29が掲載されています。

(PTA 会長 北原)

## 講演2 「障害者雇用の在り方」

有限会社戸田商行 取締役社長

戸田 実知子 氏

戸田商行は昭和36年にご主人のお父様が木毛業を創業したことから始まります。木毛(もくめん)とは贈答用の果物や酒類などのクッション材として使われています。障がい者雇用を始めたきっかけは昭和40年代に土佐市の「光の村養護学校」の先生が生徒を雇用して欲しいとやってきたのが始まりだそうです。当初は大変とまどいがあったようですが、ご両親の人柄・先生方の熱心な指導、2人の実習生の一生懸命な働きによって一般就労として受け入れるようになりました。



その後、戸田様ご夫婦が受け継ぐのですが、ある日演劇部に所属していた姪っ子さんの大会を見に行った時にとても感動したシーンがあったそうです。演劇内容はチョークを生産している日本理化学工業(70%以上の知的障がい者雇用率)が、障がい者雇用に取り組むといった実話です。

専務役:「施設で面倒をみてもらったほうが楽なのに、なぜ毎日会社に来るのか？」

住職役:「人間の幸せは4つあり、1つ、愛されること。2つ、ほめられること。3つ、人の役に立つこと。

4つ、人から必要とされることなのです。会社が人間を幸せにしてあげているのです」

私も感動!! 戸田商行では刃を使った危険な作業は、毎日気をゆるめず、しっかり気を付けている障がい者のほうが怪我もせず安心してまかせられているそうです。家庭訪問もして、不安定な時は家族とも連携をとれるようになったようです。戸田商行は信頼し、信頼されている会社だなと思いました。

(PTA 副会長 荒)



## 講演3 「卒業生の保護者の立場から卒業後の生活を考える」

日高特別支援学校 PTA 顧問

高村 境次 氏

ご夫婦共働きの中で現在23歳になる自閉症(軽度)の息子さんを育ててこられた方の講演でした。幼少期から卒業後の自立生活や余暇の楽しみに向けて具体的な目標を立て、取り組んでこられていました。

高3夏の「僕、一人暮らしがしたい」との息子さんの言葉に「なんとか希望をかなえてあげたい」と思い、現在のご夫婦とも前職を早期退職し、2018年香北町へ移住し半自給自足の生活を始められました。築120年の古民家を自分たちでリフォームし、息子さんは離れ(風呂だけ母屋)で一人暮らしをスタート。週3日通所し、あとは親子で畑仕事や薪割りのボランティア活動などをして過ごしているようです。豊かな自然の中で、積極的に地域活動にも参加していて、こんな人生もあるのだなあと感じました。高村氏の「40歳代までの息子の幸せ第一の考えが、最近子どもも親もどちらも幸せになるように、と考えるようになった」との言葉が心に残りました。

(PTA 会長 北原)



高知のお・も・て・な・し

開催前日は大雨による被害も出た高知。「仁淀ブルー」で有名な川も濁流となっていました。この日に高知へ向かった方はJR運休により予期せぬ「阿波池田」泊となったり、私たちも高速道路の事故処理により到着1時間遅れとなったりしました。それでも日高特別支援学校をはじめ高知の皆様のあたたかいおもてなしに、頭(講演内容)と心(迫力のよさこいなど)とおなか(郷土料理)がいっぱいになった高知大会でした。準備にあたられた方々と貴重な会に参加させていただいたことに深く感謝いたします。

